



いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No60

令和2年11月1日発行



中太閤山小学校運動会(10月18日)

10月

31日 議会報告会
20日 広報委員会
19日 決算特別委員会(全会計)
16日 決算特別委員会(一般会計)
15日 議会改革特別委員会(特別会計)
14日 議会改革特別委員会専門部会
13日 決算特別委員会
(病院・水道・下水道事業会計)

9月

30日 広報委員会
17日 本会議、議会運営委員会
16日 議会運営委員会
15日 予算特別委員会、議会運営委員会
14日 港湾振興特別委員会、
11日 議会改革特別委員会
10日 産業建設常任委員会
9日 民生病院常任委員会
8日 総務文教常任委員会
7日 予算特別委員会
4日 本会議(代表質問)、
全員協議会、議会運営委員会、
広報委員会

8月

31日 〔定例会〕
議会運営委員会、本会議、
決算特別委員会、全員協議会
24日 議会改革特別委員会専門部会、
議会運営委員会、
3日 議会改革特別委員会専門部会、
議会運営委員会、
全員協議会

市議会のくまじり

代表質問



【自民党新政会】

山崎 晋次 議員



- 1 1極から2極への多面性観光について
- 2 東海北陸自動車道全線4車線化完成後について
- 3 市民病院について
- 4 市内小・中学校の今後について

問① ▶ 市内第2の観光拠点、県民公園太閤山ランドを核とする観光化を提案する。里山にある豊富な資源を活用した仕掛け・仕組みをつくり、ベイエリアと連携させることで、通年観光化や滞在時間の延長を可能にできる。1極から2極へと多面性を持たせた観光対応により、県内外・市内からの交流人口が増加すると考えるが見解を伺う。

答 ▶ 太閤山ランドを含む南部丘陵地域は体験・交流が可能なレクリエーション地域として「都市計画マスタープラン」で位置づけている。多様化する観光ニーズへの課題を認識しており、多面性を持たせた観光への提案は、魅力的な内容であり利活用の促進に向けて調査・研究する。

問② ▶ 東海北陸自動車道全線4車線化後には、富山西ICの企業団地から富山新港への物流の増加が期待される。運搬される物流の量、道路の安全性の観点や東部地区の活性化のためにも、県道小杉婦中線と富山西ICを最短で結ぶ4車線化の道路新設を期待するが見解を伺う。

答 ▶ 東海北陸自動車道の4車線化や富山西IC周辺の企業団地拡張により、小杉婦中

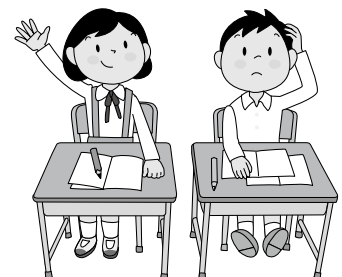
線の将来的な交通量増加が見込まれるため、富山新港東部地区へのアクセスを強化し、港湾との連携による物流の活性化を図る対策が必要と考える。提案の小杉婦中線のバイパス化も含め、実施されている県事業の進捗も見極めながら県に働きかける。

問③ ▶ 近年、医療を取り巻く環境は変化し、厳しい経営状況が複数年継続しているが、改めて射水市民病院に対する「市民意識」を調査することで、今後の取り組み方等が見えてくると考えるが見解を伺う。

答 ▶ 今年度、経営改善の一環として、地域連携状況の調査、地域の医療機関を対象としたアンケートを予定している。また、地域医療機関の聞き取り調査も実施し、地域の医療ニーズを把握し、市民に近い地域の医療機関を通して市民ニーズを把握したい。

問④ ▶ 学校の適正規模・適正配置について、現状における教育委員会の理想論としては、どのようなものか見解を伺う。

答 ▶ 学校の適正規模・適正配置に関する基本方針において、学校の適正規模の基準は小・中学校ともに、集団の中で多様な考えに触れ一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくため、クラス替えができる規模である12から18学級が望ましいとしている。また、学校の適正配置については、通学時間や通学条件を総合的に判断し、小学校で4キロメートル以内、中学校では6キロメートル以内が望ましいと考える。



その他の質問

- 今任期1年余りへの思い・取組について
- 人口減少から想定される地域コミュニティについて
- 未利用市有地の利活用について
- 2025年に向けての地域支え合いネットワーク事業について

代表質問



【自民議員会】
石黒 善隆 議員



- 1 令和3年度射水市一般会計予算編成について
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した高齢者への財政支援等について
- 3 高齢者等への災害時対応・支援について

問①▶ 新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、令和3年度一般会計予算の歳入歳出の見通しと、予算編成の取組みについて伺う。

答▶ 歳入の見通しは市民税においては給与所得の減や企業業績の悪化などにより大幅な減収が見込まれるほか、固定資産税については評価替えにより減収になると見込んでいる。普通交付税についても、合併特例措置が終了することで減少になるなど、一般財源の確保は極めて困難な状況にあると考えている。歳出面では、大型の投資的経費に加え、高齢化に伴う社会保障関係費の増嵩も見込まれることから、かつてないほどの厳しい予算編成になると考えているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と地域経済の回復との両立を図るとともに、第2次総合計画後期実施計画を推進することを予算編成の基本方針と考えている。

問②▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した高齢者等への財政支援として、介護保険料、国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料の減免があるが減免対象者や対象となる期間について伺う。

また、減免申請について、その周知方法を伺う。

答▶ 減免対象は、世帯の主たる生計維持者の事業収入等が前年に比べて3割以上減少すると見込まれる場合であり、その対象期間はいずれも令和2年2月1日から令和3年3月31日までに納付期限のあるものとしている。周知については、市報7月号、市ホームページ等のほか、介護保険及び国民健康保険は7月15日に送付した令和2年度保険料（税）の決定通知に本制度の概要について記載したチラシを同封した。また、後期高齢者医療保険は、毎年7月に富山県後期高齢者広域連合から送付する医療制度に関するお知らせで周知に努めた。なお、国民健康保険は、9月下旬の被保険者証一斉更新時にもチラシを同封して案内する。

問③▶ 高齢者等は災害避難時の環境変化が大きな負担になりやすい。高齢者や身体に障がいのある方のための備品の計画的整備や、専用スペースの設置訓練が必要ではないか。

答▶ 災害時の備蓄品については計画的に整備していくこととしている。また、8月に実施した市総合防災訓練において、高齢者や身体に障がいのある方に対する専用スペースの設置訓練を行った。今後も高齢者や身体に障がいのある方でも安心して避難していただくことができる体制整備に万全を期していく。



その他の質問

- とやま呉西圏域連携中枢都市圏について
- 中学生の自転車通学等について
- 新湊地区における不法係留船について
- 射水市の木及び市内街路樹・公園等に植樹されている樹木について
- 新型コロナウイルス感染症に関する射水市民病院の現況について

一般質問

1 公共施設等の給水栓の自動化について

2 太閤山リノベーション計画について



小島 啓子 議員



問①▶ 新型コロナウイルス感染症対策として、小中学校や保育園のほか避難所として密集状態となるコミュニティセンターなど、共同共用が発生する施設等の給水栓を自動化

すべきではないか。また、同じ用途の施設については自動水栓化を統一的に改修すべきではないか。

答▶ 今後、市公共施設の自動水栓化について、設置に向けて検討していく。

問②i▶ 太閤山リノベーション計画策定委員会の構成メンバーと人数を伺う。

答▶ 市内にある大学の教授等の学識経験者や関係行政機関、不動産及び福祉関係者、地域の代表者の計12名で構成する予定としている。

問②ii▶ 太閤山5丁目の地盤沈下跡地について、住民から意見を聞くべきではないか。

答▶ 今後、地元の皆様と意見交換を行う機会もあることから当該地も含め、地区全体の将来像に

ついて意見を伺っていく。



問②iii▶ 太閤山浄化センターの施設及び跡地の利活用に関して、地域住民の意見をどのように取り入れるのか。

答▶ 令和3年度中に神通川左岸流域下水道への接続替えにより施設が廃止となる。施設の特性・用途面から、そのまま利用するのは難しいうえに、施設の解体にも多額の費用がかかることなど跡地利用には多くの課題がある。今後、行われるリノベーション計画の策定委員会や地元の意見を伺う機会を生かしながら進めたい。

一般質問

1 新型コロナウイルス感染症対策について

2 マイナポイント事業について

3 レジ袋の有料化について



島 正己 議員



問①▶ 事業者支援の実施状況及び廃業や倒産の状況と今後の取組について伺う。

答▶ 8月28日現在で、県の緊急融資に係る保証料助成は29件、

県の休業要請への協力事業者に対する協力金は343件、テイクアウト・宅配導入補助事業は73件、うまいもん券発行事業は換金件数83件、射水市中小企業等事業継続支援金75件がそれぞれ交付決定もしくは交付予定となっている。幅広く支援が行き渡るよう事業の周知に努めていく。また、令和2年1月以降の負債額1千万円以上の倒産件数は3件となっている。

問②▶ 本市におけるマイナポイント事業の取組と市民への周知について伺う。

答▶ 本年1月に市庁舎1階に特設窓口を設置し、手続きの支援を行っている。また、本年1月にホームページ内にマイナポイントの特設ページを作成しているほか、広報いみずでも、1月号、7月号に続き、10月号にも掲載を予定している。

問③▶ 本市もマイバック運動など積極的に取り組んでいるが、新たな取組などについて伺う。

答▶ レジ袋有料化の取組に合わせて、買い物の際にマイバックを忘れた方に、レジ袋の代わりに家庭用ごみ指定袋の小サイズを1枚単位で販売できるよう取り扱いを変更し、現在市内の2事業者が取扱いを実施している。



その他の質問

●庄川の洪水時における危険箇所及び危険度評価について

一般質問

1 クロスベイ新湊について

2 (仮称)射水市フットボールセンターについて

3 歌の森運動公園野球場について



加治 宏規 議員

問①▶ クロスベイ新湊を整備するにあたり解体から竣工までの経費について伺う。

答▶ 解体工事費に約1億5千万円、交通ターミナル等外構工事費等

に約4億5千万円、備品等に約6千8百万円などの約7億2千万円となっている。また、施設の賃借料は、月額約687万円で令和22年度(2040年度)まで支払うものとしており、20年間で約16億5千万円の支出を見込んでいる。

問②▶ (仮)射水市フットボールセンターについて、地方創生拠点整備交付金の2次募集で採択となったが、前回の申請との違いを伺う。

答▶ ローカル5Gを活用した遠隔指導やライブ配信等によるスポーツ振興と交流人口拡大等の地方創生を同時に可能とする新しいスポーツ施設を整備することが先導的な事業として評価され、採択に至ったと考えている。

問③▶ 歌の森運動公園野球場に

ついて、硬式野球の試合を開催し、大会等を行うことで選手育成や施設利用率向上につながると考えるが見解を伺う。

答▶ 公園利用者の安全確保に加え、交通量の多い道路も隣接していることから安全対策を徹底する必要があると考えている。この安全対策を行う場合、新たに防球ネットを設置する費用などの課題もあることから、施設の利用ニーズなども含めて今後調査、研究していく。



その他の質問

●法定外公共物の管理について

一般質問

1 インフルエンザ予防接種について

2 学校の水道蛇口の自動水栓について

3 あいの風とやま鉄道越中大門駅のエレベーター設置について



根木 武良 議員

問①▶ 追加提案されたインフルエンザ予防接種助成の概要を伺う。また、自己負担が発生する部分を

含めて無償化してはどうか。

答▶ インフルエンザ予防接種については、新型コロナウイルスとの同時流行による医療機関の負担軽減を目的に、高齢者・中高生及び妊婦の方に対しての助成を提案している。助成金額については、自由診療で医療機関により単価を設定していることから、一部自己負担が発生する場合もあるが、県の助成金額3,000円と同額としている。

問②▶ 小中学校の水道蛇口の総数と自動水栓数を伺う。また、トイレの手洗い場を重点的に自動水栓化すべきと考えるが当局の見解を伺う。

答▶ 小中学校の水道蛇口数は小学校約2450箇所、中学校約990箇所の合わせて約3440箇所

あり、この内、自動水栓数は約240箇所である。自動水栓化は庁内検討会で対象とすべき施設や施設内の必要箇所数等について検討しており、検討会の結果を踏まえ、改めて検討していく。

問③▶ 越中大門駅を利用する高齢者、障がい者の安全・安心を守るためエレベーターを設置してはどうか。

答▶ 越中大門駅のエレベーター設置は、本市の重点事業として国県に新規要望するとともに、あいの風とやま鉄道株式会社へも設置要望し実現に向けて取り組んでいく。

その他の質問

●小学校・中学校の少人数学級について

一般質問

1 コロナ禍における災害発生時の避難所運営及び行動計画について

2 大江地区周辺の中古車販売事業者の状況について

2 地域共生社会の実現に向けた市町村における包括的な支援体制の整備について



不後 昇 議員

問①i▶ 災害時における市民一人ひとりの命を守るために必要な行動計画にあたる「マイ・タイムライン」の作成が必要だと考えるが見解を伺う。

答▶ マイ・タイムラインに関する情報をホームページに掲載するとともに、防災士などの協力を得ながら市総合防災訓練や出前講座、ワークショップなどの機会をとらえて、マイ・タイムラインの普及啓発に努めていく。

問①ii▶ 女性がより一層、市防災会議や地域の自主防災組織に参画しやすい環境を整備することが重要と考えるが、当局の見解を伺う。

答▶ 地域に対して自主防災組織での女性リーダー育成を働きかけるなど、女性が地域防災活動に参画しやすい体制づくりに努めていく。

問②▶ 大江地区周辺の中古車販売事業者の状況について伺う。

答▶ 土地利用状況の調査、指導やセーフティゾーン官民合同パトロールなど、関係機関と連携し、安全で快適な生活ができる環境づくりに取り組んでいく。

問③▶ 地域共生社会の実現に向けた市町村における包括的な支援体制の整備について伺う。

答▶ 体制整備については、連携型の包括的な相談支援、市社協を中心とした参加支援、地域支え合いネットワーク事業を発展、拡充する形で、地域づくりに向けた支援に取り組んでいく。

その他の質問

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る費用の設計変更時における積算上の対応について

一般質問

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

2 持続可能な地域コミュニティについて

3 (仮称)射水市フットボールセンターについて



高畑 吉成 議員

問①▶ 新型コロナウイルス感染症の影響を伺う。

答▶ ほぼ全業種・地域経済全体に影響がある。解雇・雇止めも

も発生しており、生活保護に関する相談の増加を予想している。また、学習の遅れや人間関係のストレスによる不登校が増えることも懸念される。

問②i▶ コミュニティバスによる学生・生徒を街に取り込む仕掛けづくりが必要ではないか。

答▶ 大学等への出前講座などで利用の仕方や乗継情報を提供する等、利用促進につながるきっかけづくりが大切と考える。公共交通を活用したお出かけを促進する。

問②ii▶ 「(仮称)あったか地域の日」による児童・生徒を地域活動に取り込むような仕組みが必要ではないか。

答▶ 地域コミュニティの希薄化は地域の課題である。地域行事に、より多くの児童生徒が参加し

やすくすることについて地域振興会連合会とも話し合っていく。

問③▶ 他施設より選ばれるフットボールセンターにするための運営・企画や、まちづくりへの生かし方について伺う。

答▶ 合宿の誘致やスポーツイベント等の開催に努める。利用料や有料広告収入の確保にも努め、民間による施設運営も検討する。また、地域消費拡大や交流人口増加を期待しており、スポーツビジネスを創生し地域全体の稼ぐ力を高めたい。



総務文教常任委員会

議案3件を可決すべきものとしました。
所管事務について11件の報告を受けました。

動産の取得について

(議案第68号)

小中学校児童生徒用
タブレットの購入
・数量 5,775台
・納期 10月30日

問 児童生徒一人一台タブレット端末等のICT教育環境の整備は、国の施策により前倒しでの実施となった。整備スケジュールや財源面は、どのように変わったか。

答 国のGIGAスクール構想の前倒し実施により、児童生徒一人一台タブレット端末の整備スケジュールは、当初予定よりも3年早い時期となった。また財源面においては、国の地方財政措置や公立学校情報機器整備費補助金のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も活用したため、国からの財源措置は増えている。

電気三輪自動車

「べいぐるん」の実証運行

期間…9月14日(月)～11月29日(日)
時間…9時～17時
料金…無料
車両…電気三輪自動車2台
運行方法…平日は新湊ベイエリアをデマンド運行し、休日はクロスベイ新湊を拠点とした観光客等の移動手段として定時定路線運行する。

問 平日について、46力所の乗降ステーションがあるが、高齢者は自宅前での乗降を希望されないか。

答 乗降ステーションは、観光施設や病院を中心に約200m間隔で設置している。不便な部分が出てきた場合は、随時、実証運行の中でも対応を検討していく。



特定空家等を

略式代執行で除却

放置すれば倒壊等の恐れがあり、危険な状態にある特定空家等について、市が建物所有者に代わって除却(解体)を実施する。なお、今回の除却工事は、緊急性の高い部分の除却のみ行い、基礎部や境界部のブロック塀は存置する。

問 このような物件は、市内に何件あるのか。

答 昨年度、特定空家等として6件を判定し、4件は既に解体済となっている。今回1件解体し、もう1件については、解体に向けて所有者と協議中である。



新型コロナウイルス

感染症に対応した

避難所開設・

運営方針を策定

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要であり、感染症対策の詳細を示した方針を策定した。

問 指定避難所で必要になる物資・資材等として仮設トイレや段ボールベッドなど多くの備蓄品があるが、各施設で保管するのか、どこかにまとめて保管するのか。

答 備蓄品は基本的に分散備蓄している。小中学校やコミュニティセンター等で保管しており、必要に応じて搬出する予定にしている。



令和2年度射水市介護

保険事業特別会計補正予算

(第1号)(議案第61号)

歳入歳出にそれぞれ6900万7千円追加し、予算総額をそれぞれ94億1894万7千円とする。

コミュニティバス等

再編プランの策定について

本市では、平成19年度から市全域を網羅するコミュニティバスの本格運行を開始したが、平成23年度から大門・大島地区では利用者の少ないコミュニティバスに替えてデマンドタクシーを導入した。平成28年度には新庁舎の完成に併せて新規路線(①中央線)を追加するなど、利便性の向上に取り組んできた。

社会情勢の変化や今後のまちづくりの方向性等を見据え、抜本的に路線を見直しする必要があり、射水市地域公共交通網形成計画に基づき、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通網の構築などを目的に、コミュニティバス等再編プランを策定するもの。



問

今年4月から実施しているIOTを活用した実証事業の中で、公共交通の利用者の把握も行っているが、具体的な対象路線及び数字を把握していれば伺いたい。

答

現在IOTを活用してバスの乗降者数をカウントする実証事業を行っている。対象路線は2番路線(新湊・本江線)と7番路線(新湊・小杉線)の2つである。

バスの乗降口に設置したカメラセンサーからデータを集約しており、運転席に設置してあるスマートフォンアプリと連携することで乗降者数を把握する仕組みである。

なお、同時に運転手が手動でカウントしている数字とは若干の乖離があるため、システムを検証し、今後の路線検討に有効活用していきたい。

新斎場使用料等(案)

について

斎場使用料(火葬1体当たり)	
12歳以上	
市内	25,000円
市外	75,000円
12歳未満	
市内	15,000円
市外	45,000円
待合室使用料	
(1室当たり、2時間以内)	
市内	8,800円
市外	26,400円

問

市の使用料・手数料の適正化に関する基本方針により検討した金額とのことだが、待合室使用料の根拠を伺う。

答

待合室使用料の算定についても斎場使用料と同じく、基本方針に基づき、人件費、物件費及び減価償却費の年間にかかる経費を年平均火葬想定件数1300件で割っている。そのうち個人負担分25パーセントを使用料としている。

問 地域支援事業費において141万9千円補正している介護予防番組制作等業務委託について「出前講座ができるように」とは、どういうことか。

答

外出自粛の生活が再び訪れたときに備え、自宅にいても出前講座を受講できるようにする。

フレイル予防のための食生活、口腔ケアや認知症予防など5項目の題材で番組を制作して、ケーブルテレビ放映とYouTube発信を考えている。放映日時については、広報紙等でお知らせする。

産業建設常任委員会

議案1件を可決すべきものとしました。
所管事務について6件の報告を受けました。

令和2年度射水市下水道 事業会計補正予算

(第1号)(議案第62号)

雨水整備事業費及び流域下水道建設負担金の増額により資本的収入を2420万円増額し、資本的支出を2421万6千円増額するもの。

いみずがんばろうキャンペーン

新型コロナウイルス感染症

緊急経済対策について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて厳しい経営環境に置かれている市内中小企業等を支援するため、次の緊急経済対策を実施するもの。

- ① 射水市中小企業等事業向上補助金
- ② 飲食店利用促進事業
「いみずうまいもん券」
発行事業補助金(第2弾)
- ③ 射水市商工協議会消費喚起事業助成金
- ④ 射水市新生活様式チャレンジ商店街等支援事業費補助金



問 「いみずうまいもん券」第2弾について、どのようにして市民に広く周知するのか。

答 「うまいもん券」は、広報11月号に折り込む予定としている。
周知については、広報10月号に予告記事を掲載する。また、広報10月号を見逃した市民にも周知するため、10月中旬に町内回覧板をまわすこととしている。その他、ホームページやケーブルテレビ等を活用することで周知を徹底していく。



(仮称)射水市太閤山地区 リノベーション 計画について

将来にわたって、持続可能な住環境を維持し、子供から高齢者までの「多様な世代が住み続けられるまち」として地域住民と協議しながら、目指す将来像を実現するための「道しるべ」としてリノベーション計画を策定するもの。

問 このリノベーション計画の最終的な形は何か。

答 このリノベーション計画は、太閤山3地区に限定して、地区の現状及び課題を詳細に分析し当該地区の再生指針を策定するものである。



予算特別委員会

令和2年度射水市一般会計補正予算（第5号）（議案第58号）及び令和2年度射水市一般会計補正予算（第6号）（議案第72号）を可決すべきものとしました。

令和2年度射水市

一般会計補正予算（第5号）（議案第58号）

歳入歳出の予算総額をそれぞれ546億4545万1千円とするもの

主な内容

- ・新型コロナウイルス感染症に係る各種施策
- ・フットボールセンター実施設計業務等

令和2年度射水市

一般会計補正予算（第6号）（議案第72号）

歳入歳出の予算総額をそれぞれ546億9211万1千円とするもの

主な内容

- ・インフルエンザ予防接種助成事業

問 新型コロナウイルス感染症対応として国から交付された地方創生臨時交付金の残額と活用法は。

答 9月補正後の残額は約3億円である。

これまで8億9千万円余りの交付金を新型コロナウイルス感染症対策にかかる諸事業に活用してきたが、交付金の有効活用を図る観点からも、これまで計上した事業の執行状況を精査し、不用額が見込まれるものについては減額補正を行い、そこで捻出される交付金と残りの3億円とを合わせて追加対策を講じていきたい。

また、これまで財政調整基金を充当してきた事業についても、財源の振替を検討していきたい。

議会改革特別委員会

令和2年度の議会報告会で報告するための資料及びアンケートについて、内容等を確認しました。

港湾振興特別委員会

報告事項の内容

- ① 帆船海王丸一般公開30周年記念式典について
- ② 令和2年度上半期の射水ベイエリアにおけるイベントの開催状況について
- ③ 令和2年4月～7月の射水ベイエリア周辺の入込数について

帆船海王丸一般公開30周年を記念し、結婚30年以上の夫婦を対象に、海王丸での船上結婚式、富山湾内をヨットで周回する乗船体験、富山湾の魚介を使ったコース料理のディナーを楽しむ催しが開催され大変好評であったことなど3件の報告を受けました。

決算特別委員会

決算特別委員会が9月定例会において設置されました。今回の決算特別委員会は、現任と前任の議長及び議会選出の監査委員を除く16名の議員で構成されました。

なお、決算認定については内容が多く、9月定例会会期中に審査を完了できないため、継続審査とし、10月中に委員会を開催して令和元年度の各会計決算等が審査されました。審査の結果や主な質疑については、次号の議会だよりでお知らせします。

委員長 島 正己
副委員長 山崎 晋次

9月定例会最終日に議員から議案2件を提出しました

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書

議長を除く18名で採決を行った結果、賛成18票、反対0票により、可決しました。

射水市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

議長を除く18名で採決を行った結果、賛成7票、反対11票により、否決しました。

9月定例会

会 期

8月31日～9月17日 18日間

議決結果一覧表

【議 案】

15件

番号	件 名	結 果
第58号	令和2年度射水市一般会計補正予算（第5号）	可決
第59号	令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
第60号	令和2年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決
第61号	令和2年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
第62号	令和2年度射水市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
第63号	令和2年度射水市病院事業会計補正予算（第2号）	可決
第64号	射水市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第65号	射水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第66号	射水市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
第67号	射水市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第68号	動産の取得について	可決
第69号	動産の取得について	可決
第70号	令和元年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
第71号	令和元年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
第72号	令和2年度射水市一般会計補正予算（第6号）	可決

【報 告】

3件

番号	件 名	結 果
第11号	令和元年度射水市健全化判断比率の報告について	—
第12号	令和元年度射水市資金不足比率の報告について	—
第13号	令和元年度射水市継続費精算報告について（一般会計）	—

【認 定】

7件

番号	件 名	結 果
第1号	令和元年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第2号	令和元年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第3号	令和元年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第4号	令和元年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第5号	令和元年度射水市水道事業会計決算認定について	継続審査
第6号	令和元年度射水市下水道事業会計決算認定について	継続審査
第7号	令和元年度射水市病院事業会計決算認定について	継続審査

【諮 問】

2件

番号	件 名	結 果
第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議無き旨答申
第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議無き旨答申

【議員提出議案】

2件

番号	件 名	結 果
第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書	可決
第2号	射水市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	否決

【議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案等について掲載】

議員名	加治 宏規	高畑 吉成	根木 武良	瀧田 孝吉	島 正己	菊 民夫	中川 一夫	中村 文隆	山崎 晋次	石黒 善隆	不後 昇	吉野 省三	伊勢 司	津田 信人	堀 義治	竹内美津子	奈田 安弘	高橋 久和	小島 啓子
議案第64号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第2号	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	※	×	×	○	○	×	○	×

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

議決結果一覧表

[議 案]

1件

番 号	件 名	結 果
第57号	令和2年度射水市一般会計補正予算（第4号）	可 決

議 会 通 信

議会報告会を開催しました

10月31日に射水市議会の議会報告会を開催しました。

3回目となる今回の議会報告会は、市内3会場に分かれ常任委員会ごとに実施しました。

第1部は議会改革について報告し、第2部は各常任委員会における新型コロナウイルス感染症対策について報告し、その後、参加者と議員とのグループワーク等による意見交換を行いました。

なお、当日の詳しい内容については、次回発行の議会だよりでお知らせします。

総務文教常任委員会 射水市役所本庁舎5階

民生病院常任委員会 救急薬品市民交流プラザ ふれあいホール

産業建設常任委員会 クロスベイ新湊 iCNホール



編集後記



津田 信人 広報委員会委員（産業建設常任委員会委員長）

コロナ禍の中、市民の皆様は新しい生活様式に苦労されていることと思います。新型コロナウイルス感染症が早く終息することを心より願っております。

さて、今9月定例会では、三つの密を避けるため議会や委員会等で新しい会議の進め方を考え、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。政策においては、新型コロナウイルスに関連する議会での質問や各常任委員会において、福祉的支援や経済的支援の審議が積極的に行われました。このコロナ禍においても、市民の皆様にとってタイムリーで効果的な政策ができるよう議会活動を積極的に行ってまいりたいと思っております。

●広報委員会 [委員長] 伊勢 司 [副委員長] 中村 文隆

[委 員] 瀧田 孝吉、石黒 善隆、吉野 省三、津田 信人、竹内美津子、奈田 安弘、高橋 久和

12月定例会は、 12月7日（月）から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

9月 定例会傍聴者数

本会議 …… 35人

委員会 …… 19人

合計54人

皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階・議会事務局までお越しください。